

夏季休業中の安全で有意義な生活について

令和8年7月

湖南省立菩提寺小学校

盛夏の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。夏休みは、子どもたちが日ごろ学校でできないことを体験したり、自分の力を試したりするよい機会です。一人ひとりの子どもが主体的に生活をし、充実した毎日が過ごせるよう各家庭でも下記のことに十分ご理解いただき、子どもたちにとって有意義な夏休みとなりますようよろしくお願いいたします。

1. 長い夏休み、学習は計画的に、仕事・手伝いは継続的に！

- 夏休みの学習は、夏休みだからこそできるもの(自由研究、読書感想文、工作、日記等)やこれまでの学習の復習等、学年ごとに課題を出しています。計画的に最後までできるよう助言をしてください。休み中もお子さんの家庭学習の習慣が崩れないようご支援をお願いします。
- 子どもに合った仕事を決め、継続していくなかで、家族の一員としての自覚が生まれます。

2. 健康で安全な毎日を過ごしましょう。

- 交通事故が多発しています。特に自転車の乗り方について、ご家庭で声かけを。**
市内で小中学校の子どもの自転車事故が多発しています。坂道での走行、交差点手前での一旦停止など、繰り返しお子さんと確認してください。ヘルメット着用を心がけましょう。
- 川や海などに、子どもだけで行かせるのは危険です。**
毎年、全国で水難事故が起こります。夏は突然の豪雨に見舞われることが多く、川の急激な増水が見られます。増水すると小さな川や用水路、溝でも危険なので、十分に注意しましょう。
- 携帯電話・スマホは、連絡が取り易いという利点がある反面、トラブルがおきる危険性があります。**
SNS 等を通じて相手と出会い、暴行や脅迫をする等の犯罪が市内でも発生しています。小学生もこうした事件に巻き込まれる危険性があります。利用については十分気をつけ、保護者の責任として、利用上の約束を決め、利用状況や子どもの状況把握につとめてください。フィルタリングを利用することをお勧めします。
- ふとした気のゆるみが、大きな事故や非行につながります。しっかり交通ルールを守り、安全な遊びを工夫して、毎日を楽ししく過ごせるように十分気をつけてください。
 - * 変質者・不審者に気をつける。【裏面をご覧ください。】
 - * 爆竹、危険な花火、エアガンで遊ばない。※花火は大人の人と一緒にする。
火遊びは絶対にさせないように、マッチやライターなどの保管にご注意ください。
 - * 映画館、ゲームセンターへは、大人の人と一緒にいく。
 - * 道路や危険な場所では遊ばない。
 - * 自主的に体を動かし、体力づくりに励む。
 - * 学校から治療勧告があった場合は、休み中に治療を済ませておく。

3. よい習慣を身に付けましょう。‘ 早寝・早起き・朝ご飯 ’

- 夏休みは、リズムのある生活から解放されるため、時間的な余裕があり生活が特に乱れがちになります。規則正しい毎日が送れるようにご留意ください。
 - * 外出するときは、必ず家の人に行き先等を言ってから外出し、遅くとも6時までに帰る。
 - * 用事もないのにコンビニやスーパーなどへ出かけない。
 - * 万引きは犯罪であり絶対にしてはいけません。
子どもの持ち物で、見かけないものがないか、よく見てあげてください。
 - * お金や品物(ゲームソフトやカード・シール等)の貸し借り、食べ物のおごり合いはしない。
 - * 友だちの家に行ったときは、礼儀正しく挨拶をし、後始末をしてから帰る。

児童向けの「菩っ子の夏休みの約束」もご確認くださいませようよろしくお願いいたします。

【連絡先】

TEL 甲賀警察署 62-4155 TEL 湖南省役所 72-1290 TEL 菩提寺小学校 74-1755

いか・の・お・す・し

1 「いか」ない！

知らない人にはついていきません。

2 「の」らない！

知らない人の車には、のりません。

3 「お」おきな声でさけぶ！

つれていかれそうになったら 大きな声を出します。

4 「す」ぐにげる！

きけんを感じたら、すぐ逃げます。

5 「し」らせる！

きけんを感じたら、おとなの人や先生、警察に知らせます。

※ でかけるときの習慣

「どこへ」「だれと」「何をしに」「いつ帰る」を伝えてから出かけます。

※ 地域の人としっかりあいさつをして、顔見知りになりましょう。

※ 定期的に防犯ブザーの点検をしましょう。



※ **不審者に出会ったら、ためらわず 110番 通報をしてください。**

誘拐などの被害にあわないために一番大切なことは、一人ひとりが危機意識をもち、危険（入りやすく、周りから見えにくい所）に近づかないことです。それでも、危険に出会った時、対処できるようご家庭で、次のことへの取組をお願いします。

1, “あなたは、大切な存在である”ということを伝えてください。

自分は親から愛されていないと思う子どももいるといわれています。「親の心 子知らず」の言葉のように、心は伝わりにくいもの。「大切な存在」であることを繰り返し伝えましょう。

2, 命の尊さを教えてください。

自分の命はもちろん、人の命も大切にできる子は、被害者にも加害者にもなりにくい子どもです。

3, 防犯ブザーの点検をしてください。

電池が切れていないか、しっかり鳴るかなど、点検をお願いします。